

# 地球科学普及講演会

～「プレート収束域の物質科学研究拠点」設立キックオフ講演会～

場所： 広島大学中央図書館ライブラリーホール

日時： 10月14日（土） 13:00～16:20

13:00-13:10 挨拶 広島大学理事・副学長（研究担当） 山本 陽介

13:10-14:10 国立研究開発法人海洋研究開発機構 理事長 平 朝彦

講演題目： 『プレートテクトニクス、日本列島、そして「ちきゅう」』

内容： プレート収束域では、付加作用による地殻の形成、巨大地震・津波の発生、地下微生物の活動とメタンハイドレートの生成など、極めて活発な地球現象が起きています。地球深部探査船「ちきゅう」を用いて、その謎に迫ります。

14:10-14:30 休憩

14:30-15:30 愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター長 入船 徹男

講演題目： 『超高压実験で探る地球の深部』

内容： 超高压実験及び関連実験技術の発展により、マントルや核の構造と物質、また沈み込んだプレートの地球深部における挙動が明らかになりつつあります。一方でナノ多結晶ダイヤモンドなど、予期せぬ新物質が超高压下で生み出されています。その最新の成果についても紹介します。

15:30-15:50 休憩

15:50-16:20 広島大学「プレート収束域の物質科学研究拠点」拠点長 井上 徹

講演題目： 『広島大学「プレート収束域の物質科学研究拠点」について』

内容： 平成25年度、広島大学は文部科学省の「研究大学強化促進事業」において研究大学として選定されています。その取り組みとして、広島大学では世界トップレベルの研究活動を展開できる「研究拠点」の選定・育成がなされています。今年度、その「研究拠点」に「プレート収束域の物質科学研究拠点」が選定されました。本講演ではその拠点について紹介します。

16:20 閉会の挨拶

17:30-19:30 懇親会（西条 HAKUWA ホテル）

プレート収束域の物質科学研究拠点



理学部地球惑星システム学科  
理学研究科地球惑星システム学専攻

